

房総半島沖スロースリップイベント (2011年10月)

その2 傾斜変動

すべりは地震活動とともに東から西へ移動、 $M_w = 6.5$

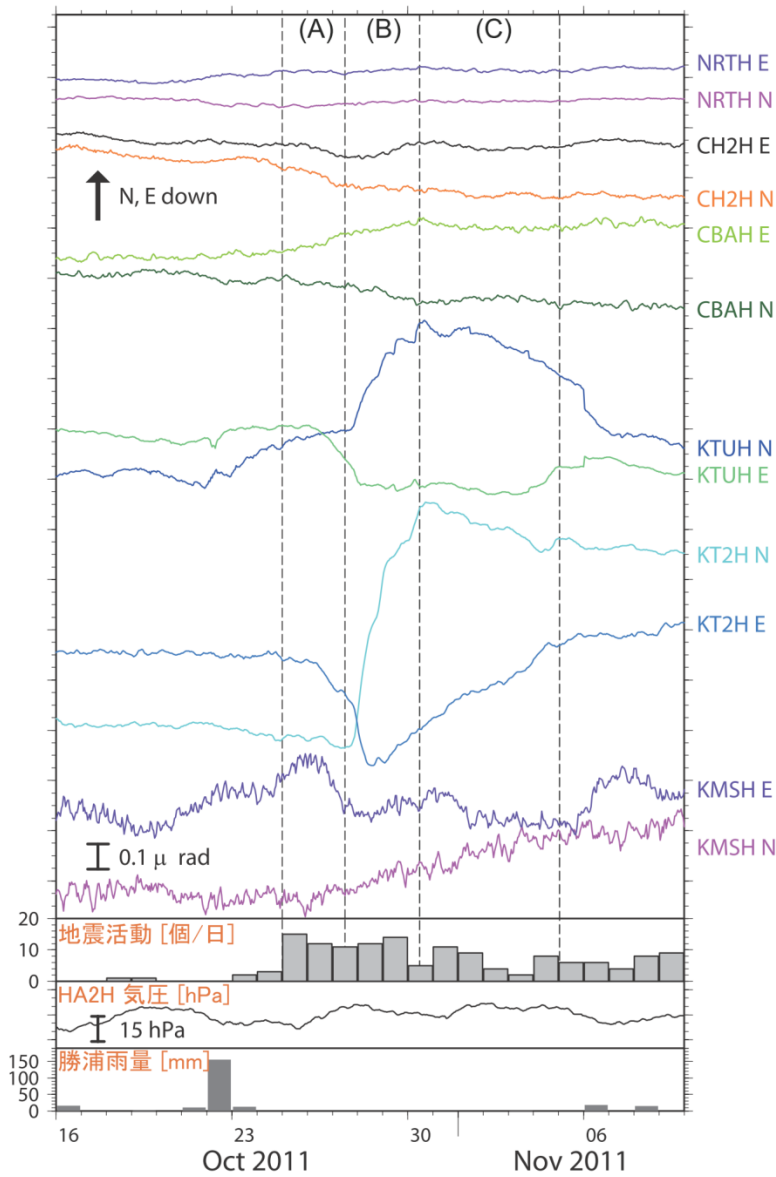


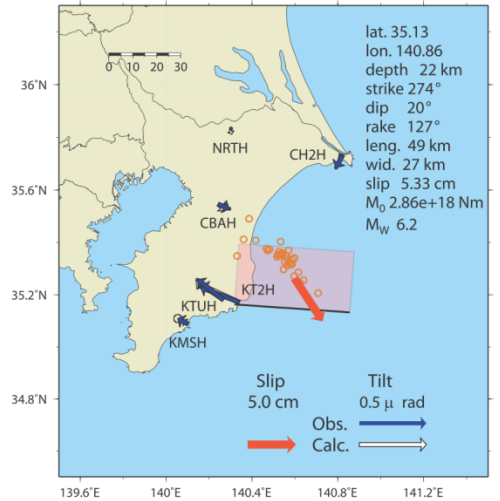
図 1: 2011 年 10 月 13 日から 11 月 5 日までの傾斜時系列。観測点の位置は図 2,3,4 の中に示した。上方方向への変化が北・東下がりの傾斜変動を表す。BAYTAP-G により潮汐・気圧成分を除去した。Hi-net HA2H (茨城県神栖市) の気圧観測値を使用した。リニアトレンド除去後の記録を示した。この期間の勝浦付近における地震活動度、HA2H の気圧、勝浦での雨量をあわせて表示した。

3 期間を合わせた規模は $M_0 = 6.89 \times 10^{18}$ Nm, $M_w = 6.5$ 。

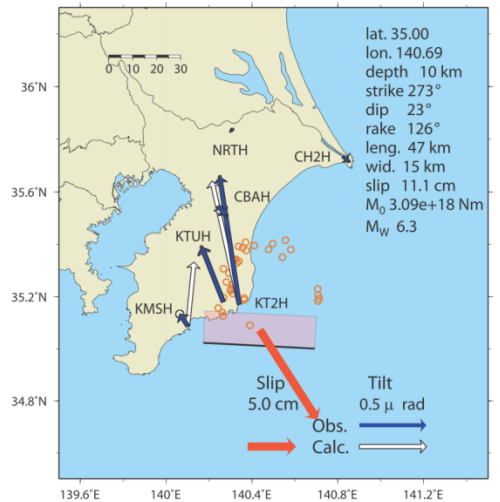
謝辞

気象庁の WEB ページで公開されている気象データを使用させていただきました。記して感謝いたします。

(A): 2011-10-25 : 2011-10-27 12:00



(B): 2011-10-27 12:00 : 2011-10-30 12:00



(C): 2011-10-30 12:00 : 2011-11-05

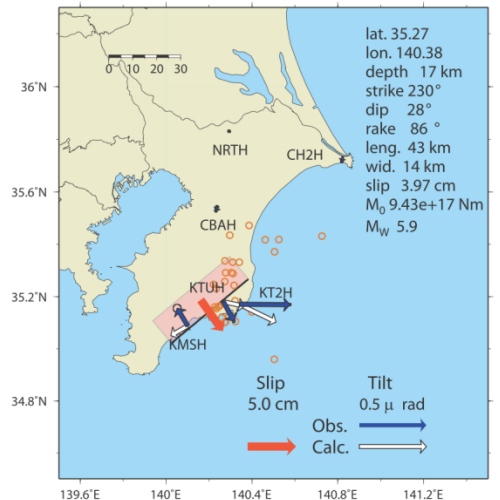


図 2: 期間 (A),(B),(C) でそれぞれ観測された傾斜変化ベクトル (青矢印)・このデータから推定されたスロースリップの断層モデル (赤矩形・矢印)・モデルから計算される傾斜変化ベクトル (白抜き矢印)。期間中発生した地震の震央分布を橙色の円で示した。